



「JA青壮年部とJA役職員との「語る会」を開催 ～農業の未来へ、若い声をJAへ～



令和8年3月30日（月）、JA種子屋久本所2階大会議室において、「JA青壮年部とJA役職員との語る会」が開催されました。

くまげ支部・西之表支部の青壮年部員が出席し、宮園隆行支部長（くまげ地区）および宮脇組合長の開会あいさつの後、中村参事を座長として活発な意見交換が行われました。

農業の現場で日々奮闘する青壮年部員から出された意見・要望に対し、JAからは真摯な回答と情報提供が行われました。

今回の「語る会」は、農業現場の声をJA運営に反映させる大切な機会となり、デジタル化の推進・担い手支援の拡充・職員環境の整備など、持続可能な農業とJA経営に向けた取り組みを確認し合うことができました。

今後も組合員の皆さまと共に歩み、地域農業の発展に取り組んでまいります。

■主な意見・要望とJAの取り組み

①購買・経理事務のオンライン化（DX）推進

令和8年1月より「組合員ポータルサイト」を開始。購買代金請求書や販売代金精算通知書をスマートフォン・PCでいつでも確認・保存・印刷できるようになりました。今後も普及推進を継続して参ります。

②主要作物（さとうきび・からいも）の将来ビジョン

さとうきびは品種構成の見直しを関係機関と協議中。でん粉原料用甘しょは令和8～10年度の3カ年生産振興対策（奨励金）を検討。農政活動を継続して推進して参ります。

③職員の減少と経営の今後

採用活動の強化（農業大学等との連携・奨学金新設・DX活用）と処遇改善（定年延長・再雇用見直し・初任給引き上げ）に取り組み、持続可能な経営基盤を確立してまいります。

④でん粉苗植付機のリース導入

現在、植付機は未保有ですが、令和7年度に実証試験を実施済み。令和8年度も実証を予定しており、実用化の見込みがあれば各市町と連携して導入を検討します。



双子座
5/21
～6/21

【全体運】一歩先を見て行動を。全体にとらわれ過ぎないのが成功のポイントです。おしゃれに気を使うと運気が上昇します
【健康運】おしゃべりでストレス発散。友人とのスポーツも◎
【幸運を呼ぶ食べ物】ソラマメ